

LESSON 16
HERE, THERE AND OVER THERE
たいいくかんは どこですか。

ねらいと学習事項

【コミュニケーションの到達目標】

- 情報のやり取り
 - 話し手と聞き手から見た位置にもとづいて、適切に場所を言い表す。
 - 地図上、また学校などの施設内の場所を聞いたり、教えたりする。
- 人々とのかかわり
 - 切り出し
 - 略式のお礼

【KEY SENTENCES】

- 1 ここは きょうしつです。
- 2 お手あらいは そこです。



【言語学習項目】

文型：ここ/そこ/あそこは Nです。

Nは ここ/そこ/あそこです。

Nは どこですか。 — ここ/そこ/あそこです。

語彙：学校の施設名、ここ/そこ/あそこ、方角、方向 他

助数詞：～階

表現：「どうも」（略式のお礼）、「あのう」（切り出し）

文法のまとめ：こ-そ-あ-ど

漢字：一 二 三 四 五 六 七

【日本と世界の文化・情報】

- 日本の学校の施設
- 世界地図

内容と解説

EXERCISES I

Student Book 2ページのイラストを使って練習

1. ex. ここは 日本です。
- ① カナダ ② アメリカ ③ ペルー ④ ブラジル ⑤ オーストラリア ⑥ ニュージーランド
⑦ かんこく ⑧ ちゅうごく ⑨ タイ ⑩ スイス ⑪ ドイツ ⑫ イギリス

◆地図を指し示しながら、「ここは(国)です」の文を言っていきます。国名はVol. Iで既習のもので、簡単に復習して練習に入ります。

◆教室では大きい本物の地図も用意するとよいでしょう。地球儀を使うのも効果的です。

EXERCISES II

Student Book 3ページのイラストを使って練習

1. ex. 一年生の きょうしつ
- ① こうちょうしつ ② しょくいんしつ ③ ほけんしつ ④ としよしつ
⑤ コンピュータールーム ⑥ うけつけ ⑦ お手あらい ⑧ こうてい

◆学校内の施設の名称を覚えます。

2. ex. ここは きょうしつです。そこは お手あらいです。あそこは プールです。
- ① 一年生の きょうしつ、 しょくいんしつ、 たいいくかん
② コンピュータールーム、 としよしつ、 こうてい
③ うけつけ、 こうちょうしつ、 ほけんしつ

◆テキストのイラストで、話し手からの距離を確認しながら、「ここ」「そこ」「あそこ」を導入します。

3. ex. A: お手あらいは どこですか。 B: ここです。 ◦ お手あらいは ここです。
- ① A: ほけんしつ B: そこ ◦ ほけんしつ、そこ ② A: としよしつ B: あそこ ◦ としよしつ、あそこ
③ A: 六年生のきょうしつ B: 四かい ◦ 六年生のきょうしつ、四かい

◆テキストのイラストで、またトピックとなっている場所の、話し手と聞き手から見た位置を確認しながら、QA 練習をします。

◆スマイルマークで、QAの内容を一文にまとめます。話し言葉から書き言葉への橋渡しとなります。

⇒ 楽しく学べるアイディア集 L16 【1】 校内スタンプラリー 【2】 世界地図ジグソーパズル

⇒ 日本と世界の文化・情報 L16 【1】 日本の学校の施設 【2】 世界地図

COUNTINGS

Student Book 5ページ

階数の言い方を練習します。1, 6, (8), 10の場合は、促音が入る規則、また、3の場合と質問の場合は、「さんがい」「なんがい」のように助数詞が濁音になることに注意して口慣らしをします。

MAIN DIALOGUE

会話本文は Student Book 6ページ/7ページのイラストを使って練習

- ◆バード君が、柔道の試合のために他の中学を訪れ、体育館や更衣室などの施設の場所をたずねる場面です。
- ◆人にものをたずねるときなどに、遠慮しながら話を切り出す「あのう」という言い方を紹介します。
- ◆「どうも」は「どうもありがとうございます」の略式の言い方です。
- ◆モデル会話の練習が終わったら、同様の場面を設定して、受付の人、同年代の生徒の両方に、場所をたずねるロールプレイをします。

SHORT DIALOGUES

会話本文は Student Book 8ページ

- ◆人にものをたずねる練習をします。
- 1. バード君が駅で迷い、現在地を確認する会話です。人にものをたずねる際、「すみません」と呼びかける表現を練習します。また、方角の言葉を覚えます。
⇒ [楽しく学べるアイデア集 L16【2】東西南北ゲーム](#)
- 2. バード君がバス停の場所をたずねる会話です。
- 3. バード君が新幹線の改札口をたずねる会話です。

QUIZ

Kanji Workbook 5～6ページ

読み書きにより基本学習項目の知識を確認します。宿題や小テストにして、フィードバックします。

楽しく学べるアイデア集

【1】校内スタンプラリー

⇔ EXERCISES II

- ① 学校内の施設や教室を回る。教師は予め、「としよしつ」「ほけんしつ」「たいいくかん」など、回る先の名称を仮名で書いたカードを生徒たちに渡す。
- ② 生徒のうちの何名かは、職員室、保健室、図書室、体育館など、担当を決めて、各所に散らばり、スタンプを持って待機している。
- ③ 校内ツアーに参加する生徒は、カードに書かれた施設や教室に着くたびに、待機している生徒と、「ここは としょかんですか。」「はい、としょかんです。」と確認の会話をして、カードにスタンプを押してもらおう。また、必ず、もうひとつ、「こうちょうしつは どこですか」「こうちょうしつは あそこです。」「こうちょうしつは 1かいです。」のように、他の場所についてのQAをすることをルールとする。

* よく知っている校内では面白みが出ないという場合は、校内を観光地に見立て、有名な建物、公園、モニュメントなどの絵や写真を持った生徒が、各所に散らばって、模擬スタンプラリーを行うこともできる。

【2】世界地図ジグソーパズル

⇔ EXERCISES II

- ① 一つひとつの国がピースになった、世界地図のジグソーパズルを用意する。国名がかたかな(中国、韓国、日本は漢字)で書かれたものがよい。入手できなければ、厚紙に地図を貼ってから、切り取って作ることもできる。その場合は、大陸ごとに手分けして生徒同士で作ると効率もよいし、学習にもなる。
- ② 各ピースの置き場所について、「日本は ここです。」「イタリアは そこです。」のように、お互いの位置関係からやり取りをしながら、完成していく。

【3】東西南北ゲーム

⇔ SHORT DIALOGUE 1

- ① 4人ずつのグループになり、「ひがし」「にし」「みなみ」「きた」の四枚のカードを一枚ずつ引く。
 - ② 「きた」のカードを持った生徒が、はじめに、好きな位置に立つ。
 - ③ 他の3人は、「きた」の生徒の位置を基準に、東、西、南の位置にそれぞれ正しく立つ。
 - ④ 「きた」のカードを持った生徒が、「もういちど」と言って、新たに好きな位置に立ち、他の3人がそれぞれの位置に立つ。これを何回か繰り返す。
- * じゃんけんで勝った生徒が最初に立ち位置を決めるルールにすれば、「きた」「みなみ」「ひがし」「にし」どこからでも始められる。

日本と世界の文化・情報

【1】日本の学校の施設

■日本の学校の校舎の様子を写真やVTRで見せます。

ふつうの教室だけではなく、科目によって、理科室、生物室、音楽室、美術室などが設けられています。また、運動やスポーツをする場所として、校庭や体育館、プールがあります。授業の風景や放課後の部活動の様子とともに紹介します。

■生徒は、自国の自分の学校について、同様に紹介し合います。

【2】世界地図

■地図を見ながら、世界の国々の位置を確認します。地球儀が用意できれば、位置関係がさらによくわかります。

例. 「ここは (国) です。」

「(国) は どこですか。」 — 「ここです。」

■各国の首都についても、同様にQAをしながら、位置を確かめていく。

例. 「(国) の しゅとは _____です。」

「_____は どこですか。」 — 「ここです。」

* 地図、地球儀とも日本の物が使えれば、文字（特にかたかな）の読み練習になります。